

インターネットトピック: 21st Annual FIRST Conferenceについて

■FIRSTとは

インターネット上で発生する事件や事故では、多くの他の組織と協調した対策が必要となります。インシデントの局所化が見られるようになった昨今でも、他の国やネットワークで発生したインシデントは、将来発生するインシデントを予測する上で大変参考になります。IJは、インターネットのサービスを提供する事業者として、このような協調活動や情報交換を行うために、いくつかの国際団体に参加しています。ここではその中の1つ、FIRST*1について紹介します。

FIRSTは国際的なインシデントに協調して対応することを目的とした団体で、1990年に設立されました。国際的なインシデントへの対応においては、法律、言語、タイムゾーンや文化背景、役割までも異なる人々が、お互いに協力しあう必要があります。その際、個別の調整によるオーバーヘッドを少なくするために、加盟組織間で、秘密を守る手法や英語の利用等いくつかのルールを定めています。

このFIRSTはCSIRT*2の団体として位置付けられ、CSIRT専門組織や国の情報セキュリティ関係組織、大学や研究機関、一般企業の情報システム部門等、多岐にわたる約200の組織が加盟しています。

■Annual FIRST Conference

FIRSTでは、ネットワーク上での情報交換から顔を合わせたの会合まで、加盟組織間で多様な活動を行っています。年に数回開催される会合のうち、最も大きなものがAnnual FIRST Conferenceです。この会合は毎年6月に世界中の様々な都市で開催されてきました。秘密保持のために加盟組織に限定されることの多いFIRSTの活動の中で、このAnnual FIRST Conferenceは加盟組織以外の人の参加も可能*3で、毎回400名以上が参加する大規模な会合となっています。

本年2009年のAnnual FIRST Conferenceは、2009年6月28日から7月3日にわたって、京都で開催されることが決まっています*4。本稿執筆時点では、プログラムの一部*5が公開され、参加者募集も開始されています。

そのプログラムは、情報セキュリティ関係の一般的な会合のような技術的な内容はもちろんのこと、攻撃者側の状況の共有や、国際的な協調対応の動きの紹介、国家機関や司法機関、ISPや製品ベンダ等、立場の異なる組織の協調方法や事例の共有、実際に攻撃を受けた経験に基づくインシデントレスポンスの様子など、多岐にわたっています。

また、登壇者を含め、参加者の多くは第一線で活躍しているセキュリティのエキスパートであり、この会合は世界中の専門家が日本に集う貴重な機会となっています。是非この21st Annual FIRST Conferenceに参加して、最新の動向をつかみ、協力関係を築く場として有効に活用してください*6。



執筆者:

齋藤 衛

IJ サービス事業統括本部 セキュリティ情報統括部

*1 <http://www.first.org/>

*2 Computer Security Incident Response Team (CSIRT) コンピュータが関係した事件や事故への対応を行う組織。

*3 期間中には、年次総会 (Annual General Meeting: AGM) 等、参加者が加盟組織に限定される会議も開催される。

*4 <http://conference.first.org/>

*5 <http://conference.first.org/program/program.aspx>

*6 匿名での発表や本来秘密の情報への言及などが想定されるため、会合期間中は参加者による録音と写真撮影は禁止されています。あらかじめご注意ください。